

つくし保育園 入園式によせて

神さまからいただいたもの

礼拝堂が春らしいきれいなお花で飾られています。今日は二十名の新しい園児たちの入園式。みなさん、つくし保育園へようこそ！心からお祝い申し上げます。

みなさんは知っていますか？ つくし保育園には神さまからいただいたものがいっぱいあるんですよ。たとえば、お庭を通ってきた方は木の上に黄色いもの見られたでしょう。

な・つ・み・か・ん。

え、まだ春なのに？ じつは昨年からずっと実がついていて、お庭でいつでも食べられます。おいしい夏みかんジャムにもなって、おやつのパンにぬるとまた格別。甘酸っぱいイチゴももうすぐ可憐な白い花を咲かせるでしょう。畑には大根やニンジン…。みんなで採れたてを食べたり

おいしくしてください！」と調理のお部屋に運んで、神さまからの栄養満点メニューをつくってもらいます。秋はお庭でお芋ほり、栗拾い。たき火で焼き芋たのしいな。お昼に丹波の栗ごはん：なんて贅沢！ つくし保育園は神さまからいただいたもので満ちています。

神さまからいただいたものの中で一番大切なものがあります。それは、ここに座っているみなさん、一人ひとり。神さまが愛し、大切に守り育ててくださった子どもたち。お父さんお母さんが神さまからお預かりし、ずっと見守ってこられました。

この大事な宝ものを今日から、私たちがお預かりします。心をこめて寄り添い、成長の喜びを親御さんと分かち合ってまいりたい。

神さまの愛とお守りがこれからもみなさんと共にあるように。